

令和4年度地域運動部活動推進事業 合同部活動に関する実践研究 成果報告書（概要）

大阪府 泉大津市

（地域における現状・課題）

- ①運動部活動の顧問について、なり手不足や技術指導できる人材不足及び多忙化の問題
- ②運動部活動の地域展開の実現に向けて、地域スポーツ指導者の確保と資質向上の必要性
- ③部活動未加入者など、運動機会の少ない生徒を対象にした運動機会の増加を図る必要性
- ④既存部活動の合同部活動実施に向けて、市内中学校の現状や大会出場資格などに合わせた仕組みを構築する必要

（合同部活動の取組概要）

実践研究校：東陽中学校、誠風中学校、小津中学校

活動場所：東陽中学校体育館、泉大津市立総合体育館、泉大津市役所ほか

指導者：総合型地域スポーツクラブ（OZUSポ）指導者、大阪体育大学の院生・学部生

移動手段：徒歩、自転車

活動種目：バスケットボール、ダンス、レクリエーションスポーツ

会費等：無料

（実践研究の成果）

合同部活動の取組により、生徒と生徒間の相互に主体性がみられ、異年齢集団における新しい人間関係形成に協働性が醸し出されつつある部活動の環境が観取できた。また、学生資源を活用した外部指導者の配置により、技術指導ができない顧問への支援や生徒にとっても技術力向上やスポーツの面白さを実感してもらえる機会となった。

部活動改革について開催した3回の研修会では、現状を地域団体に周知することで、地域スポーツ団体の指導者や学校の管理職、教職員から意識に変化がみられた。

（運営体制図）

